

# みやざき九条の会 ニュース

2005. 6. 13 第2号  
880-0803 宮崎市旭 1-3-20 くすの樹ビル  
宮崎中央法律事務所内  
TEL0985-24-8820 FAX0985-22-2937  
E-mail miyazaki9jou@yahoo.co.jp

## 映画と音楽の夕べ 7月14日, 宮崎市民プラザで

本県えびの市出身の映画監督、**黒木和雄監督**の「戦争レクイエム三部作」を活動の一環としてシリーズで上映することにしました。はじめに第1作となる「**TOMORROW 明日**」をとりあげました。この映画は、長崎に原爆が投下された日の前日から投下直前までの人々の日常を描いた作品です。無名の人々の群像を、やさしく澄んだ眼差しで追いながら、戦時下の日本人の1日を、見事なまでに再現しています。映画の前に、地元で活躍するフォークシンガー・**ミッキー**さんによる弾き語りもあります。

映画と音楽を楽しみながら、平和と憲法九条についてともに考えましょう。みなさんお誘いあわせのうえ、ふるってご参加下さい。

チケット・チラシ・ポスターが出来上がっていますので、知人・友人の方々へも参加を呼びかけて下さい。チケットが必要な方は事務局までお申込み下さい。

なお当日は前売券をお持ちの方に優先的にご入場していただきます。ぜひお早めに前売券をお求め下さい。

日時=**7月14日(木)**開場 18時 開演 18:30~21:00

会場=宮崎市民プラザ・オルブライトホール

料金=前売 1000円 (当日 1300円)



## 青年劇場「真珠の首飾り」6月22日, チケットあります

日本国憲法誕生の舞台裏を描いた青年劇場の「真珠の首飾り」のチケットを本会でも取り扱っています。チケットが必要な方は本会事務局までお申込み下さい。

と き=6月22日(水) 18:30 (18:00開場)

ところ=宮崎県立芸術劇場 演劇ホール

入場料=一般 3,000円 学生 2,000円 (当日各 500円増)

主 催=ベアテの会みやざき TEL0985-61-7590



## 横川澄夫新代表世話人から一言 “自分の言葉を出したい”

自分の言葉を出したい、と思っています。呟きであってもいい。答えでなくともよい。用意された答えと違っていてもいい。あるいは愚かな言葉を。

そんな言葉が、他人の言葉と出会ってまた次の言葉を生み出してゆく。お互いの横につらなるこんな営みが、上から流れてくる自衛、国際貢献、人道支援だの美しい言葉(?)のウソさ加減に対抗するでしょう。(高鍋町, 牧師)

## 郷田美紀子新代表世話人から一言 “憲法九条を次世代へ”



「言語」は、ややもすると私を煙にまきます。私は直感的人間です。難しい事は解りません。でも、人間同志が自分達の欲求を満たす為に命を奪いあう行為は、いかなる理由をつけられても納得する事は出来ません。

これからの時代は、豊かさの価値を「もの」から「こころ」にかえ、世界中が愛と祈りに満ちたものになるように努めなければなりません。

一人の母として、女性として、あらゆる命の尊さを訴えていきたいと思います。(綾町, 薬剤師)

### 各地での九条の会の結成を呼びかけます

本会として宮崎各地での九条の会の結成を下記の方針にもとづいて呼びかけます。

1) 本会は、各地・各界・各層で九条の会を結成し、憲法九条を守る運動を広めることを呼びかけるとともに、九条の会の結成・活動のために積極的に協力します。

2) 九条の会の結成や交流のために、本会の例会やニュース等を活用します。

3) 本会と各九条の会との関係は、上下の関係ではなく対等な関係とします。そのため、各九条の会の運営は独自のものとなります。

4) 本会として各九条の会の活動状況を常に把握できる体制をとり、九条の会どうしの交流を進めます。

### 会員 県内全域で390名に

本会の会員数が6月7日現在で390名に達しました。1月29日の発足記念講演会以降も徐々に増加しています。今後とも会員拡大など運動の発展にご協力下さい。

### 九条の会講演ビデオ 貸します！

「九条の会」講演ビデオをお貸しします。発足記念講演会（2004年7月24日）の内容を再録、大江健三郎氏ら8人の講師の熱気そのまま伝わります。家族で見るとよし、集会を企画してもよし。VHSとDVDの両方があります。事務局までお申込み下さい。

### 集会「靖国を考える（仮題）」を企画中

8月24日 宮崎市民プラザで

集会「靖国を考える（仮題）」を企画中です。8月24日19時から、宮崎市民プラザ・4階ギャラリーで開催予定です。詳細はおって連絡致します。

### こばやし九条の会発足 7月8日に集会

こばやし九条の会が4月15日、8名の代表世話人を選出して発足されました。

7月8日（金）19時（18時30分開場）から小林市社会福祉センターで集会が開かれます。藤原宏志さん（本会代表世話人）による講演「今九条を考える（仮題）」、そして歌やスライドもある楽しい集会になるそうです。入場無料でどなたでも参加できます。お問い合わせは上村光雄さん（TEL0984-23-4450）まで。

### 都城地域の九条の会 6月14日に学習会

都城地域で結成準備が進んでいる九条の会が6月14日、みやざき九条の会代表世話人の藤原宏志さんを講師に招き憲法学習会を開催します。今後の活動状況は随時このニュースでもお知らせしていきます。お問い合わせは、当面、若松英次さん（TEL0986-22-4414）まで。

### 九条の会1万人講演会 7月30日有明で

大江健三郎氏らによる昨年6月のアピール発表からほぼ1年。アピールに応じて全国で1900を超える九条の会が生まれ、草の根の活動が広がりました。「九条の会」は、来る7月30日（土）に、東京・有明コロシアム（1万人収容）で講演会を開き、あらためて「九条の会」の立場をより広範な人びとに訴えます。

#### 今後の活動予定

6月16日	第4回例会
6月22日	青年劇場「真珠の首飾り」
6月27日	事務局会議, 7.14実行委
7月12日	事務局会議, 7.14実行委
7月14日	映画と音楽の夕べ
8月24日	集会「靖国を考える」

### 活動報告

#### 第2回例会 水田稲作と戦争

第2回例会を4月21日、宮崎市教育情報研修センターにおいて41名の参加で開催しました。

会では、まず藤原宏志氏が「水田稲作と戦争」と題して話題提供。水田稲作技術の持つ特質、水田稲作と領土との関係が説明され、水田稲作の発達にともない戦争が始まったことが、自身の実証的研究の成果と合わせて報告されました。

次に横川澄夫新代表世話人（高鍋町・牧師）が就任あいさつ。そして「会則の一部改正」と「九条の会の結成に対する本会の方針」を承認しました。最後に本会の今後の活動について意見交換しました。（木下統）

#### 会則を一部改正

本会を宮崎市民活動支援センターに団体登録して、活動をスムーズに行っていくため、4月21日の第2回例会で会則第3条を一部改正しました。新旧条文は下記の通りです。改正箇所は下線部です。

（新）第3条（活動）本会は、宮崎市を拠点とし、宮崎地域において前条の目的を達成するために、実現可能なあらゆる活動を行う。

（旧）第3条（活動）本会は、主として宮崎県を中心として、前条の目的を達成するために、実現可能なあらゆる活動を行う。

## ピースウォークに50人

憲法記念日の5月3日、約50人の参加でピースウォークを行いました。宮崎駅から出発し繁華街を周って戻るコース。遠方から駆けつけてくださった方やその場で飛び入りしてくださる方も、参加者は思い思いの宣伝物で平和と憲法九条を守ることを市民に訴えました。また、多くのマスコミの取材がありました。新聞報道の一部を4ページに掲載してあります。(木下統)

## 牧師会と懇談 憲法九条と平和を語り合う

5月9日、阿波岐原町のシャロームキリスト教会(島田満雄牧師)で宮崎市内のプロテスタント派教会の牧師会が開かれ、10名の方が出席されました。

この機会に「みやざき九条の会」から瀬口黎生、南邦和の両名がこの会合に出席して、「憲法九条」をめぐる昨今の政治状況や、全体的な“護憲”の取組み、また宮崎県下における活動などについて意見を交わしました。

祈りと賛美歌、そして聖書の言葉を噛みしめる教会ならではの集会でしたが、牧師の先生方それぞれの口から「憲法九条」についての真摯な発言があり、戦争を知る世代、戦後世代の立場からの切実な「平和」への希求が語られ、有意義な集いとなりました。(南邦和)



## その他の動き

### 宮日特集 本会を紹介(抜粋)

(略)「あの戦争の時のように、よく理解できないまま巻き込まれるのはごめんだ」。

高鍋町北高鍋の牧師横川澄夫(74)は、十年前から教会で、反戦や九条に関する集会を幾度となく開く。しかし、集まるのは一回に十五人ほど。「若い人に至ってはほとんど見たことがない」という。

横川は今年四月、「みやざき九条の会」の代表世話人を引き受けた。会は任意で参加者を募り、組織単位の入会も認めていない。五五年体制以来の政党主導の護憲運動とは一線を画した活動理念に賛同した。

それまで単独で運動を続けてきた横川は「憲法九条の条文を一言一句変えないことに賛同すること」の一点のみという入会条件が気に入った。

筆頭世話人で元宮崎大学学長の藤原宏志(65)が「ルーズな組織」と認める通り、イデオロギーや地位を超えて自由に意見交換できる雰囲気、そこから感じ取れるからだ。

(略)二〇〇一年に起きた米中核同時テロから続く国際環境の激変をきっかけに、日本でも国土の防衛や身の回りのセキュリティについて関心が高まりつつある。

国会で改憲論がにわかに強まってきたのは「一連の事件以降、多くの国民の中で、タブーとされてきた九条改正を容認する土壌が生まれたからだ」と、藤原は分析する。険悪化する日中関係も、この空気の醸成に拍車を掛ける。

一方で、一般の議論は現時点ではまだ深まっていない。県内での憲法論議も、九条の会発足以前は皆無に等しかった。「国民がぼんやりとしているうちに、政府だけで改憲へ動くのが一番の問

## この道はいつかきた道

### ——記憶を風化させないために

#### 第3回例会を開催

今回の講師は瀬口黎生さん(小説家・元教員)。「60年前の戦争ってどの戦争のこと? と若い世代の人に聞かれる。若い世代は、社会に無関心層が多いのでは。韓国は関心が高い」と瀬口さん。資料に、

- 1) とんでもない勘違い——陸自幹部案
- 2) 経団連、集団自衛権行使規定を求める
- 3) 憲法全体を書き換え方針——自民党起草案等準備して頂きました。

満州事変について、興味深くお話し頂き、最近の自衛隊と米軍の連携にまつわる一連の動きは「いつかきた道」を思わせないだろうか。彼らにとって憲法九条は足枷なのである……

次回、またお話し頂くようになっています。(澤田初枝)

講演後、新代表世話人として郷田美紀子さん(綾町・薬剤師)を選出。郷田さんが就任あいさつとして憲法九条を守る運動にかけると語りかけられました。次に、各地で取り組まれている活動や「九条の会」結成について情報・意見の交換。「こばやし九条の会」が結成されたこと、都城地域に九条の会を結成する準備が進んでいること、門川町、日向市にも同様の動きがあること等が報告されました。(木下統)

題。改憲、護憲のどちらを支持するにしろ、みんなで真剣に話し合うことが必要だ」。横川は信念を再確認するようにつぶやいた。(敬称略)

(宮崎日日新聞特集 みやざき戦後60年 第1部・豊かな国の憲法論【1】戦争放棄 国民に九条議論必要 2005年4月30日)

### 宮日社説 本会の活動に言及(抜粋)

(略) 広がる「憲法九条の会」

本紙で連載中の企画「豊かな国の憲法論」で、憲法九条を考える「みやざき九条の会」が取り上げられている。

いま、全国で同じような「九条の会」が発足し、国民の目線で憲法を考える動きが広がってきた。日本というこの国の戦後六十年の在りようにかかわる憲法改正の動きが進んでいるからだ。

(略) 戦争イメージを共有

全国で「九条の会」が広がるのは老年、壮年、青年のいずれの世代にも「戦争」のイメージがはっきりしているからであろう。

戦前生まれの人たちが六十年前のあの太平洋戦争ならば、団塊世代は三十年前のベトナム戦争である。いまたまた、その子やもっと若い世代が思い描く戦争はアフガニスタン戦争であり、イラク戦争だ。(以下略)

(宮崎日日新聞社説 憲法記念日 改正にはまだ国民的論議が必要 2005年5月3日)

## かごしま九条の会幹事が講演 9条2項大切

かごしま九条の会の網屋喜行幹事が5月3日、「多数派になるために——今、九条を考える」と題して講演。日本科学者会議宮崎支部などが主催したもの。網屋氏は、憲法9条の第2項「戦力を保持しない。交戦権を認めない」を守ることが焦点になると指摘。また、憲法九条を活かした安全保障方式を具体的に提起することの重要性を述べられました。120名を越える参加者からは「戦力を持たないことの大切さ歴史的意義が大変よく分かった」「老化しつつある私の頭に九条を守る新しいエネルギーを充電できた」などの感想が寄せられました。

集会参加者に、この日午後、本会が主催したピースウォークへの参加を呼びかけ、多くの集会参加者がピースウォークにも合流して下さいました。(木下統)



護憲を訴える横断幕や旗を持って行進する人たち

(略) その後、参加者の一部は「みやざき九条の会」が宮崎市の高千穂通りなどで実施したウォーキングに参加。「9条を守ろう」「テロも戦争もいや」などと書かれた横断幕や旗を持ち、約50人が行進した。(毎日新聞2005年5月4日)



宮崎市内の繁華街を行進し、憲法9条堅持を訴えた市民グループ



「9条を守ろう」と街頭アピールする市民団体のメンバー

(略) 集会後、参加者らは、九条堅持を訴える「みやざき九条の会」主催の街頭ウォークに合流。条文をプリントしたTシャツ姿で、宮崎市の市街地を約一時間かけ行進。「党派を超え、九条の改正を阻止しよう」と呼び掛けながら、ピラ約六百枚を配布した。(略) 街頭ウォークに参加した宮崎市の農学部農学部宮崎大学農学部四年、宮地智広さん(21)は「平和を訴える方法を思い付かずに参加してみた」、小林市真方の無職上村光雄さん(68)は「子どもたちのためにも憲法九条を守らないといけない」と力を込めていた。(宮崎日日新聞2005年5月4日)

(略)「みやざき九条の会」は、約50人が宮崎市の宮崎駅から繁華街まで行進。参加者はプラカードやチラシを手に「九条を守ろう」と市民にアピールした。(西日本新聞2005年5月4日)

